

interiorlifestyle 2008/6/11-13
インテリアスタイル展 東京国際見本市 東京ビッグサイト西ホール
ライフスタイル展レポート (レポート / 撮影 志智俊介・佐口昌明)

現在、日本で最も人気の高いインテリアライフスタイル展は国内外のインテリア業界をアグレッシブにする提案型の見本市です。30を超える国と地域から、リーディングカンパニーの最新プロダクトが集結しました。そして、本年度から「IFFT (東京国際家具見本市)」が11月より「IFFT/interiorlifestyle living」としてリニューアル開催されます。国内最大の家具見本市である「IFFT」。これら二つの見本市が融合し、新たな生活空間提案を表現するインテリア総合見本市となります。この11月の展示会には日本テキスタイルデザイン協会もテーマゾーンに参加予定しております。



Style・Japan
今回のライフスタイル展に日本テキスタイルデザイン協会が参加予定としているテーマゾーン「スタイル・ジャパン」

- ① 京都商工会議所 京都プレミアム
- ① インテリアショップ「エッセンス」とコラボレーションして出展
 - ② 「用の美」。それは実用に耐えうる無駄のない美しさ。常に目に触れ、使うためのものこそ美しくあるべき、という匠芸運動の理念。その言葉がブランド名となった YOnoBI。日本の伝統工芸と今のデザインのコラボレーション。時には世界中からのデザイナーの作品も展示発表。
 - ③ 塚本カナエの感性により生み出された和のブランド (BITOWA ビトワ) 新シリーズ日常生活に根ざした使いやすいアイテムを取り揃えて展開。現在 23 アイテム。
 - ④ ミラノ在住のプロダクトデザイナー、意田一彦「毎日使いたい日本の伝統を新しく作り出す」というコンセプトに日本国内だけでなく 23 カ国で販売されている。



TDA メンバーの出展ブース



- ① ket&KET 杉山哲三 プロデュース 日本毛布工業組合の産地組合が生き残りかけ新しい分野に挑戦。
- ② isso ecco 古屋興一 インテリアライフスタイルをトータルにプロデュースしているブランド。
- ③ minimynimo 今野文雄 メーカーと高品質開発を行うメイドインジャパンを重要なキーワードに展開しているブランド。
- ④ FIBERART STUDIO 西田弘子 高品質な素材と洗練されたデザインテイストで表現。

IFFT
interiorlifestyle living
● heimtextil TRENDS 2009/2010 Preview

・2008年11月19日(水)～22(土)
・東京ビッグサイト 東展示1・2・3ホール
・主催:社団法人国際家具産業振興会
・メサコ・メッセフランクフルト株式会社



TDAメンバーによる企画・デザイン「三河JAPANブランド」出展
代表:杉山氏、今野氏・佐口氏の3名が協力

日本の繊維産地の代表的な地域としての愛知・蒲郡市は、ジャパブランド「三河JAPANブランド」の確立を進めている。このほどライフスタイル展に出展。三河JAPANブランドは、蒲郡商工会議所内のJAPANブランド確立委員会が活動している。参加企業は(株)公大、(株)鈴寅、藤濱染工(株)、(株)松坂、森重實業(株)の5社。
松平・徳川家の直轄地として武家の文化を色濃く継承している三河地方の特徴を生かし、旗や武器、ふすま絵や絵巻物からデザインモチーフを取ったほか、三河木綿に代表される縞柄や格子なども取り入れた。ライフスタイル型のブランドを目指し、カーテンや椅子張り地、クッションやテーブルウェア、掛けカバーやピローケースなどに使える多目的なインテリアファブリックで構成する。「華やかさと粋をキーコンセプトにして、コンテンポラリーなモダンライフの建築や住居にマッチする和テイストのデザイン」を訴求する。IFFTには求評会の位置づけで参加。アンケートを配布、ここでの評価を踏まえて商品内容を具体化し活動方針を定める。
JAPANブランド事業概要
中小企業庁から日本商工会議所及び全国商工会連合会への補助事業である「JAPANブランド」。本事業は、地域が一丸となって地域の強みを活かした製品づくりをして「日本」を表現しつつ世界に通用する「JAPANブランド」を実現していこうとする事業である。

